

九建日報

発行所

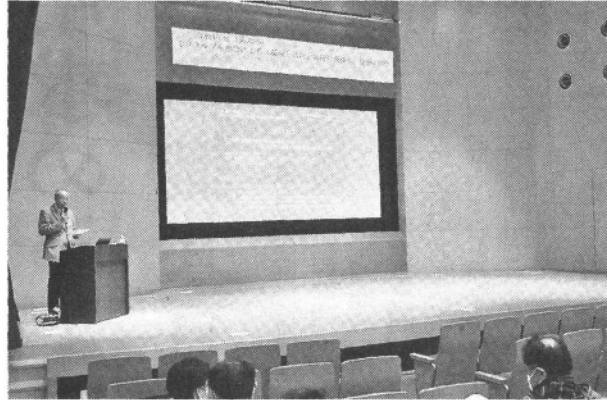
株式会社 九建日報社

〒812-0018 福岡市博多区住吉5-9-19

電話 代表092(431)5361番

FAX 092(431)7613番

グリーンインフラ等学ぶ ミラクルソル協会技術研修



【佐賀】ミラクルソル協会(原裕理事長)は9日、第30回技術研修会(写真)を唐津市高齢者ふれあい会館「りふれ」で開催した。協会員や建設コンサルタント、行政関係者など約130人が参

加し、グリーンインフラや防災に係る技術や工法について学んだ。研修会は「環境と防災と維持管理技術」をテーマとするもので、例年開催している。原理事長は冒頭、「これからの社会

はグリーンインフラでつくっていく。CO₂を削減して、気温を下げるという試みはされているが、なかなか難しい。第1段階として半世紀前の平均気温に落ち着くところまでもっていき、さらに下げるように努力していかなければならない」と語った。

研修会は2部構成で行われ、第1部では引き続き原理事長が「環境と防災とミラクルソルで目指すグリーン社会への挑戦」と題し、気候変動により発生している環境への影響や災害などについて講演した。また、ミラクルソルを用いた施工等を行うことで、大規模盛り土の地すべり防止や環境緑化、路面温度の低下

などに効果を発揮するとデータを交えながら説明した。

続いて、日特建設(株)技術開発本部知財戦略部の山梨太郎ICT上級主任が、「法面工事におけるICT技術の活用」について講演し、休憩を挟んで「水と土と緑の環境を創出するミラクルソル工法・スロープセイバー工法」をテーマにパネルディスカッションが行われた。

第2部では、サンスイ・ナビコ(株)営業開発部の和田亮主任と、同社九州営業所の堀江靖所長が「グラウンドアンカー健全度調査例及び、SSL・Fixerグラウンドアンカー工法の紹介」の講師を務めた。ま

た、「水と土と緑の環境を創出するミラクルソル工法・Fixerグラウンドアンカー工法」についてパネルディスカッションがあったほか、(一財)砂防フロンティア整備推進機構の今井一之理事が「防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策とこれからの砂防」をテーマとして特別公演をした。